

平成21年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成20年8月7日

上場会社名 株式会社 シダー
 コード番号 2435 URL <http://www.cedar-web.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 嘉忠
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 松尾 剛
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

上場取引所 JQ

TEL 093-513-7855

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	1,666	—	7	—	0	—	△1	—
20年3月期第1四半期	1,346	33.0	△72	—	△73	—	△46	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	△0.28	—
20年3月期第1四半期	△8.03	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	6,404	864	13.5	150.62
20年3月期	5,286	865	16.4	150.90

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 864百万円 20年3月期 865百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	3,370	19.6	△30	—	△44	—	△30	—	△5.23
通期	7,120	20.2	110	94.7	90	109.3	45	185.5	7.98

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 5,738,000株 20年3月期 5,738,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 1株 20年3月期 1株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第1四半期 5,738,000株 20年3月期第1四半期 5,738,000株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項

1. 本資料に記載しております業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、サブプライム問題の実体経済への影響が懸念され、原油価格や原材料価格の急激な高騰等により、企業収益や設備投資に翳りが見られるなど、景気の先行きに不透明感が強まる状況となりました。

介護サービス業界では、介護報酬の不正請求事件や介護事業者の不適切な運営等を防止する観点から、介護サービスの質の向上やコンプライアンスに対する管理体制の強化が求められました。また、都市部において介護職員の人材不足も問題化しており、業界を取り巻く環境は厳しい状況の中、推移いたしました。

このような状況のもと当社におきましては、人員配置や業務手順の見直し等、効率的な運営に取り組むことで利益率の改善を図る一方、社員の定着率を向上させるための施策を実施してまいりました。また、当第1四半期では、新規に有料老人ホームを2施設開設しており、積極的な施設展開を図ってまいりました。

この結果、当第1四半期の売上高は1,666,108千円となり、営業利益は7,261千円、経常損失は456千円、四半期純損失は1,602千円となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ72,278千円増加し401,229千円となりました。また、当第1四半期における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期における営業活動の結果、獲得した資金は、57,210千円となりました。その主な内訳は、収入要因として、未払賞与の増加169,439千円、仕入債務の増加15,546千円、減価償却費50,149千円、支出要因として、売上債権の増加額69,193千円、賞与引当金の減少74,177千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期における投資活動の結果、使用した資金は、976,151千円となりました。その主な内訳は、支出要因として、有形固定資産の取得による支出1,070,097千円と敷金及び保証金の差入による支出65,368千円、預り保証金の返還による支出13,811千円、収入要因として、敷金及び保証金の回収による収入155,868千円、預り保証金の受入による収入22,118千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期における財務活動の結果、獲得した資金は、991,219千円となりました。その主な増加要因は、長期借入金の増加1,100,000千円であります。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の業績予想につきましては、平成20年5月15日に発表しました業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前事業年度において使用した業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によって算定しております。

②一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合に、前事業年度末に算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して一般の貸倒見積高を算定しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	401,229	328,950
売掛金	1,137,635	1,068,441
前払費用	62,888	59,229
繰延税金資産	99,547	91,080
その他	1,697	738
貸倒引当金	6,962	6,140
流動資産合計	1,696,036	1,542,300
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,998,004	1,133,691
土地	1,288,356	1,027,417
その他(純額)	147,335	250,860
有形固定資産合計	3,433,697	2,411,970
無形固定資産	21,779	17,994
投資その他の資産		
投資有価証券	93,801	93,801
長期前払費用	93,962	101,387
敷金及び保証金	879,205	966,628
繰延税金資産	143,088	150,601
その他	42,548	2,270
投資その他の資産合計	1,252,607	1,314,689
固定資産合計	4,708,084	3,744,654
資産合計	6,404,121	5,286,954

(単位:千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	119,162	103,615
短期借入金	1,300,000	1,270,000
1年内返済予定の長期借入金	573,288	513,284
未払金	70,440	48,160
未払費用	283,828	113,914
未払法人税等	6,389	18,976
賞与引当金	32,684	106,861
その他	21,229	27,504
流動負債合計	2,407,021	2,202,316
固定負債		
長期借入金	2,849,795	1,948,539
退職給付引当金	125,382	121,182
長期預り保証金	157,670	149,063
固定負債合計	3,132,847	2,218,784
負債合計	5,539,869	4,421,100
純資産の部		
株主資本		
資本金	432,280	432,280
資本剰余金	308,030	308,030
利益剰余金	123,941	125,543
株主資本合計	864,251	865,853
純資産合計	864,251	865,853
負債純資産合計	6,404,121	5,286,954

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	1,666,108
売上原価	1,549,831
売上総利益	116,276
販売費及び一般管理費	109,015
営業利益	7,261
営業外収益	
受取利息	1,510
雑収入	3,995
営業外収益合計	5,505
営業外費用	
支払利息	11,141
雑損失	2,082
営業外費用合計	13,224
経常損失()	456
税引前四半期純損失()	456
法人税、住民税及び事業税	2,100
法人税等調整額	954
法人税等合計	1,145
四半期純損失()	1,602

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純損失()	456
減価償却費	50,149
貸倒引当金の増減額(は減少)	822
賞与引当金の増減額(は減少)	74,177
退職給付引当金の増減額(は減少)	4,200
受取利息及び受取配当金	1,510
支払利息	11,141
売上債権の増減額(は増加)	69,193
仕入債務の増減額(は減少)	15,546
未払賞与の増減額(は減少)	169,439
その他	29,396
小計	76,564
利息の支払額	11,497
法人税等の支払額	7,856
営業活動によるキャッシュ・フロー	57,210
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	1,070,097
無形固定資産の取得による支出	4,861
差入保証金の差入による支出	44,612
差入保証金の回収による収入	92,252
敷金の差入による支出	20,756
敷金の回収による収入	63,616
預り保証金の返還による支出	13,811
預り保証金の受入による収入	22,118
投資活動によるキャッシュ・フロー	976,151
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	300,000
短期借入金の返済による支出	270,000
長期借入れによる収入	1,100,000
長期借入金の返済による支出	138,740
配当金の支払額	40
財務活動によるキャッシュ・フロー	991,219
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	72,278
現金及び現金同等物の期首残高	328,950
現金及び現金同等物の四半期末残高	401,229

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額 (千円)
I 売上高	1,346,375
II 売上原価	1,328,907
売上総利益	17,467
III 販売費及び一般管理費	89,835
営業損失 (△)	△72,367
IV 営業外収益	8,007
V 営業外費用	9,445
経常損失 (△)	△73,805
税引前四半期純損失 (△)	△73,805
税金費用	△27,702
四半期純損失 (△)	△46,102

(2) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前当期純損失 (△)	△73,805
減価償却費	30,909
貸倒引当金の増加額	296
賞与引当金の減少額	△76,218
退職給付引当金の増加額	1,422
受取利息	△1,783
支払利息	9,445
売上債権の増加額	△88,641
仕入債務の増加額	5,760
その他	185,955
小計	△6,658
利息の受取額	0
利息の支払額	△9,668
法人税等の支払額	△10,380
営業活動によるキャッシュ・フロー	△26,707
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△52,126
無形固定資産の取得による支出	△623
敷金等の返還による収入	200
預り保証金の返還による支出	△12,018
預り保証金の受入による収入	21,688
投資活動によるキャッシュ・フロー	△42,880

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額 (千円)
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	400,000
短期借入金の返済による支出	△102,000
長期借入金の返済による支出	△86,646
配当金の支払による支出	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	211,344
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—
V 現金及び現金同等物の増加額 (又は減少額)	141,757
VI 現金及び現金同等物の期首残高	427,227
VII 現金及び現金同等物の期末残高	568,984